

ボランティア

新聞

発行日
7月31日

春
夏
秋
冬

苦勞あり・笑いあり

7月28日、29日の2日間、合計4時間老人ホームで春夏秋冬のボランティアクラスを行いました。3人でいきまいた。春夏秋冬には、だいたいの70才くらいから上のおじいちゃんおばあちゃん6人近くいました。私は、春夏秋冬に入るのは、今回がはじめてでした。中を見たり、歩いていたりして一番に思ったことは、明るくてきれいな所だなーと思いました。それに扉ではよくしまると音がうるさくなってしまうがちなことがあつて静かになっていて良い工夫がされているなと思いました。ときばきし開始しました。

活動内容

到着して一番目にしたこと、デイリールの机ふき、床そうじ、といったそうじでした。床をふく時モップみたいなのを使います。春夏秋冬では車イスを利用されている方がたくさんいるので下をふくときは、あたらないようご注意ください。それが終わったら2階から1階にかけて各部屋をまわってごみを集めてまわります。一人一人の出すごみは、多くはなかったのですがすべておえた時は



もえるごみも90のふくろいっぱいもないごみも約50のふくろいっぱい、ベットボトル、缶などたくさんでました。タオル作りは、しがりたくなつたけど楽しかったです。

一番今日のボランティアで苦労したのは、食事(昼食)です。はじめに介護士さんにくばられたエプロンを利用者の人につけていただきす。首があらうない人がいたりしてはじめは、とても時間がかかってしまいました。次にエプロンにお茶をそいでいきます。お茶をなかなか飲んでくれない人とかいて飲んでもらうのに時間がかかりました。食事では、自分で食べるこどでできない人や口の開かない人がいました。一日目は、ごはんをあげる介護をしているのを見ていきました。2日目は、実際にゼリーのお茶をあげてみました。のみこんでくれたのがよくわかりました。きがあり困ったこともあったけど良い体験になりました。

コミュニケーション

おじいちゃんやおばあちゃんとお話してへえーと思うことがたくさんありました。その中で戦争にいかれたおじいちゃん、右手の小指をなくされておりとこもつらい思いをしたということかじんじん伝わって来ました。おばあちゃん数人としりとりをした時は昔のあまりしらない言葉などたくさんでてきて私自身も勉強になりました。話できるおばあちゃんとして、遊んだりして普段あまりできないことができておもしろいこともありました。豆知識とかここならではの会話などいろいろ聞くことができたです。

編集後記

私はこのボランティアを通して苦労したり、知らないことを知ったりしたけど、その経験で新しく学べたことか、ありました。自分が思ってた以上にうれしくて、自分が世の中をみれたような気がします。この経験をこれから生活に生かしていけたらなと思います。

